

## PICK UP TIP\*Sの気になるイベントや裏側を紹介します。



オンライン開催 ワークショップ 5/29開催  
「本と、わたしと、あなたと、対話。」本から“自分への問い”と出会う

### 読書体験のシェアで自分を発掘するワクワク感

参加者はそれぞれ思い入れのある1冊を持ちより、本の内容や自分の解釈を語ります。そこで出会った“自分への問い”をもとに、対話を重ねていきました。ファシリテーターは、“てっちゃん”こと小笠原祐司さん。読書体験をシェアするワクワク感の中、自分のあり方をじっくりと考える機会となりました。

■参加者のみなさんが紹介した書籍（一部。書籍名/著者）：先見と行動/渋沢栄一、星の王子さま/サン＝テグジュペリ、インド旅行記/中谷美紀、反応しない練習/草薙龍瞬 など

## TIP\*S RADIO

ネットで聞ける地域のリアル「TIP\*Sラジオ」では、地方で新しい働き方や地域の魅力づくりに取り組んでいる方へのインタビュー動画をYouTubeにて配信中!



### ぐっときたひと言

【第115回】宮崎県日南市・杉本恭佑さん  
種の段階でも  
人に話すことで芽になっていく

## FROM STAFF

この春で、いわわん（岩井智洋）とぼんざぶ（中村恵大）、びーちゃん（日野綾子）がTIP\*Sを卒業し、新たにさとめ（佐藤めぐみ）とささりん（清水幸也）がジョインしました。そこで新生TIP\*Sメンバーの集合写真を撮影することに。今号の表紙になると聞いて、みんなちょっと張り詰めた空気?今年度はこのメンバーで、みなさんの出会いと対話、そして新たな一歩をサポートします!

TIP\*Sでは他にも様々なイベントを開催しています。  
最新情報はFacebookやメルマガにて発信中!

Webサイトはこちら ▶ <https://tips.smrj.go.jp/>

TIP\*S



## Access



〒100-0005  
東京都千代田区丸の内 2-5-1 丸の内二丁目ビル 6F 611 区  
JR 東京メトロ丸の内線 「東京駅」丸の内南口より徒歩3分  
東京メトロ千代田線 「二重橋前駅」4番出口より徒歩3分

TEL : 03-6212-1840  
FAX : 03-6212-1841  
E-MAIL : [info-tips@smrj.go.jp](mailto:info-tips@smrj.go.jp)

Be a Great Small.  
中小機構

## TIP\*S とは何か

TIP\*Sは、中小機構が運営する新しい学びの場です。年間約200回のワークショップやイベントを通じて参加者同士が対話することで、それぞれが新たな気づきや想いを胸に、自ら決断し、アクションを起し始めています。

イベントに集まるのは、何が行動したいと感じている多彩な方々。中小企業と大企業、地域と都会など、垣根を越えた人と人との出会いを生みだし、それぞれの想いや活動を支え合う関係づくりを目指しています。

## TIP\*S での学び

TIP\*Sのワークショップや講座は、バリエーション豊か。ひとりひとりの「一歩進みたい」を、丁寧に応援したいという思いで、さまざまな企画を考えています。

そして、イベント当日は、対話が自然と盛り上がる雰囲気づくり、さらに学びを深めたい方同士のつながりづくりを力を入れています。

まずは気軽に、関心のあるイベントに参加してみてください。多様なバックグラウンドを持つ参加者同士で話すほど、刺激を受けあってモヤモヤします。

そのモヤモヤが、自ら考え、行動するためのステップ。いつのまにか「一歩進んで」いるはず。

# TIP\*S

対話と出会いで、一歩が変わる。

# POST

vol.15

TIP\*S TALK

オンラインとリアルの狭間で  
新型コロナで見たTIP\*Sが大切にしたいこと



## TIP\*S TALK

TIP\*Sでのワークショップの裏話や  
今感じていることなどをお伝えします。



## 「コロナの“今”だからできることを考えた」

世界的に猛威を振るい、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス。その影響は、TIP\*Sにも及びました。『TIP\*S POST』では、だえみママとなほりにインタビューを敢行。この4カ月間で感じたこと考えたことなどを、赤裸々に語ってもらいました。本稿はTIP\*S Webサイトとの連動企画。見どころポイントをギュッと凝縮して紹介します。

日本でも都市圏を中心に感染が見られるようになった2月上旬、TIP\*Sでは対策を講じながら通常どおりイベントを行っていました。世間では東京マラソンの一般ランナーの参加取りやめなどの動きはあったものの「当時はニュースのひとつに過ぎなかった」（だえみ）という感覚。けれども日に日にコロナの危険が身近に感じるようになり、2月の終わりにはイベントの中止を決めました。その後、間もなく全国の小中高校や特別支援学校

が休校になったタイミングのことです。

直後是对应に追われ、「目の回る忙しさだった」（なほり）というTIP\*Sチーム。いつもは夜になると仕事を終えた人たちが賑わう丸の内のスペースも、驚くほどひっそりとしていたといいます。

この状況がいつまで続くのか終わりが見えない中、混沌とした状況だからこそ、TIP\*Sにできることがあるはずと、3月の半ばにはオンラインでのワークショップをスタート。新たな形で学びと対話の場を再開しました。



## 「世代や立場関係なく立ち返る時間だった」

「こういう時期だから、かえって普段は試せないこと、大切だけど先延ばしにしていたことにもチャレンジできた」と当時を振り返るだえみ。ワークショップの再開を心待ちにしていた常連さんだけでなく、全国から参加者が集まるなど、オンラインならではの発見もありました。

「私は一連の出来事を通じて、自分自身を見つめ直しましたし、参加されたみなさんもうるところがあったみたいで。それは年代も立場も問わず同じなんだと、様子を見ながら感じました」（なほり）それはTIP\*Sという場においても同様で、だえ



みは「社会や人々の動きを受け、ワークショップに参加されたみなさんの心も揺らいでいたんですよ。それに伴いTIP\*Sも週が変わるごとに揺らいでいたし、その揺らぎ自体をこれからも大切にしたい」と話します。そして丸の内に“誰も来ない”4カ月間で得た気づきや感覚は、今後の仕掛けにも反映されていくといいます。

これからのTIP\*Sはどうなるの？とたずねたところ、だえみからは「TIP\*Sは“生もの”です」と意味深な答えが。その真意を知りたいければ、ぜひWebのインタビュー本編へアクセスを！

## VOICE 新型コロナはあなたの暮らしにどんな変化をもたらしましたか？



だえみ  
（岡田恵実）

## 言わずと知れたTIP\*Sの名物ママ

テレワーク生活に入り、オンライン朝活が日課になりました。マインドフルネス瞑想や、体幹トレーニングにもトライ。天気の良い日はベランダに出て、汗をかいています。画面の向こうのみんなとの連帯感も、楽しみのひとつ。



なほり  
（片岡啓太）

## 2年めながらTIP\*Sの大黒柱

家にいる時間が長くなったせいか、植物に関心を持つようになりました。バリバリの体育会系で来たから、花を愛でる日が訪れるなんて思いもしなかった（笑）。最近はやサボテンを種から育てることにチャレンジしています。

## NEXT EVENT

こんなイベントも企画中です！

起業

マイプロジェクト

地域でのアクション

世の中の「見方」

社会課題解決

自身の価値観



もっと詳しいレポートは  
Webからご覧下さい

